

第2回 データ・AI活用に関するアンケート結果のご報告

前回に続き、全国374社のユーザー様より貴重なご回答を賜りました。見積・請求業務の実態と実データ活用へのご期待を、心より御礼申し上げます。

OVERALL RESULT / 全体総評

REAL DATA

「全国のリアルな実工数データ」に
96%のユーザー様が意義をお認めくださいました

規定値と現場の実工数に乖離を感じる方は97.0%。現場実態に即したデータ基盤への強いご期待を、あらためて強く確認いたしました。

96%

のユーザー様が実工数データ活用に「プラスになる」

アンケート集計結果 / Survey Aggregation

Q1. 最も時間がかかる・自動化してほしいプロセス（複数回答）

1st 実際に請求されている工数データの活用

67.3%

2nd 実際に流通している部品価格データの活用

64.9%

3rd 見積書の自動生成

37.3%

4th その他（在庫原価連動・書類入力・部品検索など）

8.7%

▶ 上位2項目はいずれも6割超 — 「実データの活用」が最優先のご要望

Q2. 作業料金（工賃）の決定方法（単一回答）

標準データは参考程度、実際の作業時間や難易度、実績を反映

76.4%

標準の作業点数（日整連データ等）の自動計算をそのまま採用

14.4%

標準データは使わず、自社の請求実績・経験値で決定

7.9%

その他（ネット相場調査・作業点数＋外注原価ベース など）

1.4%

▶ 7.5割超のユーザー様が実作業時間、実績を反映

Q3. 規定値と現場の「実工数」の乖離を感じるか

頻繁にある

48.8%

たまにある

48.2%

ほとんどない

3.0%

▶ 合計97.0%が乖離を実感 — 標準値だけでは現場を表せない実態

Q4. 全国のリアル工数データ整備は業界にプラスか

非常にプラスになる

56.9%

ある程度プラスになる

39.2%

あまり意味はない

3.8%

▶ 上位2項目の合計で96.1% — 適正利益と生産性向上への強い支持

Q5. 「全国の実工数データ」がシステム上で確認できる場合に期待するメリット（複数回答／上位3項目）

自社の作業効率が適正と比較できる

70.1%

ベンチマーク需要が最多

顧客への説明（価格根拠）に説得力が増す

64.4%

価格根拠の明確化

新人のフロントでも迷わず適正な見積が作れる

32.9%

教育・標準化にも効果

！真摯な受け止め 「まずは動作の安定と使いやすさを」というお声を最優先に

自由記述80件のうち、動作速度・操作性の改善に関するご指摘を重ねて頂戴いたしました。新機能より先に、基礎的動作の安定化と操作性の向上を最優先で進めてまいります。実データ活用機能は、既存のGATCHの操作感を損なわない"アシスト"として、安定性の改善と並行し段階的に実装いたします。

今後のアクション / Next Actions

01 ACTION 01
実工数・部品価格データ基盤の構築

ご要望最多の「実際に請求されている工数データ」と「実流通部品価格」を軸に、全国のユーザー様の実データを活かした見積支援基盤の構築に着手いたします。

実工数DB 部品価格 見積自動生成 価格根拠

02 ACTION 02
動作安定性・操作性の改善を並行推進

自由記述でいただいた動作速度・操作性のご指摘、および車販・板金・書類入力など個別のご要望を整理し、既存機能の改善計画へ順次反映いたします。

NEXT STEP
実データ連動見積の先行検証 — ご協力ユーザー様を募集予定

GATCHサポートチーム / プレミアソフトプランナー株式会社
スムーズな工場経営を、がっちりサポート。全国約5,000のユーザー様と共に。

https://gatch.softplanner.co.jp/
© 2026 PREMIUM SOFTPLANNER CO., LTD.